

## つぶやきってなあに

子どもたちは、日ごろから友だちや大人と関わって遊び、生活する中で“うれしいこと”“悲しいこと”“驚いたこと”“腹が立つこと”“求めたり望んでいること”など様々なことを感じ、精一杯表現しています。

このような子どもたちの中の「思い」を表現したもの(言葉・しぐさ・動き・表情など)を、「つぶやき」としてとらえています。

## 「つぶやき」とおして

幼稚園・保育所(園)・児童発達支援センターなどの就学前施設では、「つぶやき」とおして、子どもの生活や友だちへの「思い」をしっかり受け止め共感するとともに周りの友だちに伝え広げていくことを大切にしてきました。

このことは仲間とともに生きる子どもを育み、さらには、一人ひとりの子どもの人権をまもることにつながっていくと考えています。

子どもの姿や思いを私たち大人がしっかりととらえ、保育を見直しなが、子どもたちの人権についてこれからも考えていきたいと思ひます。

ここに紹介している「つぶやき」は「平成25年度子どものつぶやき展」で展示している「つぶやき」の一部です。

## か…し…マン…マ

1歳児

朝のおやつあさのおやつの時に「カブト虫かぶとむしにも ごはん あげないといけないね。」と話をし、おやつを食べたあと、カブト虫のえさを忘れていた保育士ほいくしに

えいた 「か…し…(カブト虫)」  
「か…し…マン…マ。」

ゆり (カブト虫のケースを指さす。)  
保育士 「あっ!カブト虫にも ごはん あげないとね。」  
えいた・ゆり 「うん。」

## 一人ひとりが

### 優しくなればいいねん

5歳児

平和月間へいわげっかんで 命の大切さいのちのたいせつについて いろいろな取り組みをしてきました。

戦争の劇せんそうげきを見たあとに…

みか 「戦争せんそうって 怖いこわいなあ。」  
なおみ 「みんな死んだら 会えなくなるから 嫌いやや。」  
保育士 「日本は平和な国やけど、今も戦争せんそうしてる国があるねん。どうしたら戦争せんそう、なくなるかなあ？」  
としき 「来年の七夕らいねん たなばたで お願いする。」  
けいじ 「みんな一人ひとりが 優しくなればいいねん。」

第20回

# 子どものつぶやき

平成25年度(2013年度)

## 21世紀を になう子どもたちに

次代をになう子どもたちが、生き生きと、健やかに育ち、力を合わせて明るい未来をつくりあげてくれることを誰もが望んでいます。しかし、世界はもちろん、日本においても厳しい状況におかれ、様々な差別に苦しみながら生活をしている子どもたちがいます。

そんな中、「子どもの権利条約」にみられるように、子どもが一人の人間として尊ばれ、よりよい環境の中で成長・発達できるようにしていくことが重要な課題となっています。

今年度、豊中市では、子ども一人ひとりが健やかに育ち、そして、子どもや子育て家庭に関わる全ての人がつながり、社会全体で子どもを愛情深く育む地域社会を実現するため、「豊中市子ども健やか育み条例」が制定されました。

就学前施設では、「豊中市人権保育基本方針」にもとづき、一人ひとりの子どもの人権を大切にすることを基本に、すべての子どもに豊かな感性を育てお互いを大切にすることを、人権尊重の基礎的な資質を養うことをめざした同和・人権保育をすすめています。

「子どものつぶやき」は、同和・人権保育の中で大切にしてきた取り組みの一つです。

豊中市子ども未来部保育幼稚園室

なでなで

0歳児

朝のおやつ時間、お外に行きたい くみちゃん。  
保育士 「おやつ 食べてから行こうね。」  
くみ 「あ〜ん。」  
(うつぶせになって ふわふわマットのところで泣いている。)

いつも よくあそんでいる かよちゃん ももちゃん  
(くみちゃんの 両サイドに寝転がり、顔をのぞきながら  
なでなで)

二人の顔を見て、少し気持ちも 落ち着いた くみちゃん。  
保育士 「どうする？おやつたべる？」

三人は、水道のところにやってきて、手を洗い始めました。

0歳児クラスの子どもたちも 少しずつ、まわりの友だちのこと  
にも、目が向きだし、「かなしいよね。」「だいじょうぶだよ。」と  
いう思いを、「なでなで」という行動で表していました。

友だちと一緒に遊ぶ楽しさ  
友だちのすばらしさ

女の子も 男の子も

いたかったら 泣くわ

3歳児

かけっこの時に、もつれ合っ 転んでしまった ふじこちゃんと  
しんちゃん。  
ふじこちゃんは 大泣きして走ることができず、保育士と一緒に  
走りました。

保育士 「どうして 泣いたの？」  
ふじこ 「いたかったから。」  
保育士 「しんちゃんは どうだった？」  
しん 「(転んでも走るの)うれしかった。」  
たく 「(しんちゃんは)  
女の子じゃないから つよかったし。」  
ふじこ 「女の子も つよいわ！」  
けんご 「女の子も 男の子も いたかったら泣くわ。」

子どもの「つぶやき」は  
明日への期待がいっぱい

自分でやらせてよ

2歳児

たえちゃんに、なんとかして 水分をとらせようと、  
抱きかかえてお茶をすすめる お母さん。

お母さん 「たえちゃん！たえちゃん！  
お茶飲んで！ハイ飲むよ。」

たえ (そっくりかえって、お母さんの手を  
ふりほどく。)

保育士 「たえちゃん お茶いらないの？」  
お母さん (お茶を飲ませることを あきらめる。)

たえちゃんは、自分で手を洗いについて もどってくると、  
ちょこんと座ってコップを持ち

たえ 「しんしー(先生)くーらしゃい(ください)。」  
保育士・お母さん「自分で したかったんやねえ。」

たえちゃんは、お茶を飲んで にっこり 大満足でした。

おんなのこだから

あたりまえ？

4歳児

「おんなのこだから」の絵本の、  
“おそうじ せんたく おかいもの 食事のしたく あとかたづけ  
弟や妹のせわ 女の子だから あたりまえ？”の所を見て、

ながこ 「あたりまえ ちゃうなー。  
だって、ながこのお父ちゃんも せんたくも  
洗い物もしてるもん！」  
けいこ 「けいこのお父さんも、せんたく物してるで〜！  
食器片付けるのは、けいこもやってるで〜！」  
こう 「ぼくもお手伝いしてるで〜。  
お父さんも ごはん作ってる！」  
ながこ 「な〜。みんなで してるよな〜。」  
ふくえ 「みんなで したら いいんやんな〜。」

はやくって いったる

2歳児

「かおかお どんなかお」の絵本をみている時

わらっているかおのページを 見せながら  
保育士 「どんなかお してる？」  
じゅり 「わらっている かお。」  
次に、おこっているかおのページを 見せながら  
保育士 「どんなかお してる？」  
あい 「はやくって いったる。」

「はやく はやく」と 声をかけている時は、大人のペースに  
合わせようとして、怒ったような 余裕のない表情をしている時  
があることを、子どものつぶやきを聞いて、気づかされました。

仲間と

つながっていこうとする姿

みくちゃんのことすきやで

4歳児

ななみ 「ななみ、みくちゃんのこと すきやで。」  
みく 「えっ！？なんて？」  
ななみ 「みくちゃんのこと すきやで。」  
みく (びっくりしたような、嬉しいような表情で)  
「ほんまに！？ほんまに！？みくのこと？」

そんな言い方で

帰ろうと思うかな〜

4歳児・5歳児

事務所に来ていた 4歳児の あこちゃんを  
しばらくして 呼びに来た、5歳児の たろうちゃんと  
きみかちゃん。  
たろう 「なんも言わんと 行ったら あかんやろ！！」  
きみか 「そんな言い方で あこちゃんが 帰ろうと  
思うかな〜？」  
ちょっと考えて  
たろう 「あこちゃん、みんなが まってるで〜。」  
そのことばで、三人でお部屋に 帰って行きました。